

第 6 次草津市総合計画策定

地域別懇談会 報告書

目 次

はじめに	1
「進めたいこと」のカテゴリ別集計	3
1 新堂中学校区	13
1 実施概要	13
2 議 事	13
2 草津中学校区	25
1 実施概要	25
2 議 事	25
3 松原中学校区	41
1 実施概要	41
2 議 事	41
4 老上中学校区	53
1 実施概要	53
2 議 事	53
5 玉川中学校区	65
1 実施概要	65
2 議 事	65
6 高穂中学校区	83
1 実施概要	83
2 議 事	83

はじめに

1. 目的

草津市では、現行計画の第5次草津市総合計画の計画期間が令和2年度で終了することから、令和3年度から令和14年度までの12年間を計画期間とした第6次草津市総合計画の策定に約2年間かけて取り組んでいます。

この地域別懇談会は、草津市の今後のまちづくりについて市民の皆様とともに話し合い、いただいたアイデアやご意見を第6次草津市総合計画の策定に生かすとともに、草津市の目指すべき将来像を市民の皆様と共有することを目的に実施しました。

2. 概要

日 時	令和元年7月7日(日)午前10時～
場 所	草津市立新堂中学校2階 特別活動室
参 加	新堂中学校区 ○笠縫東学区 ○常盤学区
日 時	令和元年7月16日(火)午後7時～
場 所	草津市役所8階 大会議室
参 加	草津中学校区 ○草津学区 ○大路区 ○渋川学区
日 時	令和元年7月27日(土)午前10時～
場 所	草津市立山田まちづくりセンター2階 集会室
参 加	松原中学校区 ○山田学区 ○笠縫学区

日 時	令和元年7月27日(土)午後2時～
場 所	草津市立老上小学校1階 多目的室
参 加	老上中学校区 ○老上学区 ○老上西学区
日 時	令和元年7月31日(水)午後7時～
場 所	草津市立玉川まちづくりセンター2階 大会議室
参 加	玉川中学校区 ○玉川学区 ○南笠東学区
日 時	令和元年8月3日(土)午前10時～
場 所	草津市立教育研究所 研修室
参 加	高穂中学校区 ○志津学区 ○志津南学区 ○矢倉学区

「進めたいこと」のカテゴリ別集計

各地域懇談会で出されたポストイットカードによる「進めたいこと」をカテゴリ別に集計して、全体のニーズの把握を行いました。

それによると一番多かったのが交通関係の対策です。

—交通関係 63件—

●公共交通の整備関係 (26件)

- ・交通環境の整理
- ・バス
- ・交通（バス）路線（まめバス）等
- ・公共交通（バス）の充実
- ・公共交通の充実
- ・各施設への移動手段
- ・生活に直結する医療～買物～駅の交通が不便である
- ・利用しやすいまめバスのルート本数を増やす
- ・まめバスより小型のバスを運行し、こまめな交通手段を増やす
- ・車が無くても住める町
- ・バスの増便、バス停の位置
- ・デマンドTAX or TAXチケットの導入
- ・デマンドタクシー 介護タクシーの導入
- ・バスルートの変更
- ・学区内を巡回するコミュニティバスの新設
- ・路線バスの増便（従来のルート）
- ・バス、道路、駅道路交通の基盤整備
- ・交通の便を良くし、周辺の地区の人口を増やす
- ・今の数字にはあらわれないが、あるという安心感で人が増えていく
- ・大きい病院までの交通手段（バス）
- ・モノレールの整備
- ・市内モノレールの設置
- ・まめバスをやめてタクシーチケットを配る（高齢者・弱者）
- ・高齢者が移動しやすい
- ・高齢者が便利に利用できる交通手段（自家用車外）
- ・高齢者の移動手段の充実

●道路の整備関係 (11件)

- ・車の移動 道路整備
- ・周辺道路の整備

- ・住民のことを考えて道路づくりを早急により方向にすすめる。
- ・信号機の設置
- ・山手幹線の1日も早い開通
- ・将来を見据えた道づくり
- ・東西を結ぶ道路の整備
- ・南草津駅より国道への道の立体交差
- ・狼川道路を広げよう
- ・広域的な道路整備を図る
- ・道路・歩道の整備

● 駅整備関係 (9件)

- ・駅西口広場の立体化
- ・駅前をバスターミナルにする
- ・駅前道路(幹線道路)の整備
- ・駅前道路はマイカーと交通(バス・タクシー)を分ける(乗り入れを分ける)東口(公共)西口マイカー
- ・駅中心として東西(JR)のつながり〈道路整備〉
- ・新駅(プリムタウン対策)
- ・新駅の設置
- ・西友中心としたバスターミナルの整備

● 渋滞対策関係 (5件)

- ・交通渋滞解消策の中に、道路幅自転車道をどうするか
- ・渋滞の解消
- ・南草津駅を中心に交通渋滞をどう解消すべきか
- ・抜本的な交通渋滞対策を進める
- ・渋滞解消は行政だけでなく警察との協力が必要

● その他 (12件)

- ・駅乗降客の誘導
- ・JRアンダーパスの幅を広げる
- ・交通の流れを考える
- ・子ども・高齢者にやさしい交通規制
- ・自転車に乗る人のマナーアップ
- ・西友の駐車場を多層階にする
- ・大学生の通学対策(駅⇄大学)
- ・浜街道に全線歩道整備
- ・歩道の拡幅(1号線の狼川から南草津方面(西側))
- ・歩道の植え込みの撤去
- ・バス停部の歩道が狭い
- ・交通環境の整備

次に多かったのは、コミュニティに関する対策で、コミュニティへの参加やまちづくり協議会に関する意見が多く出されています。

—コミュニティ関係 34件—

●コミュニティへの参加関係 (15件)

- ・まちづくりの市と地域の協働の推進
- ・高齢者と若者のコミュニケーション
- ・子どもの急増、新旧仲良く交流する
- ・若い世代の地域活動への参加
- ・住民のつながりイベント開催
- ・信頼が高まる取組、あいさつ、配食、声だし、安心感の充実
- ・新しい方に（マンション住民など）住民参加してもらう
- ・各地域においてのひとづくり
- ・まちづくりのための地区計画を進める（道路整備、拡幅含む）
- ・地域の一体感
- ・地域の運動会
- ・地域の交流が行き届いている
- ・地域の担い手の確保
- ・盆踊り大会
- ・問題点の取りまとめと調整

●まちづくり協議会関係 (10件)

- ・まちづくり協議会の持続性強化
- ・まちづくり協働を主としたまちづくりでまとめるのか
- ・まち協と町内会仲良くするか、また、別団体になるのか
- ・まち協プラットフォーム化
- ・行政と連携したまちづくりセンター（ひとづくりセンター）エリアの構築オンリーワンのセンター
- ・人が集まりにぎわうまちづくりセンター
- ・再度まちづくり協議会のルールづくりを！
- ・地域リーダーを育てる
- ・町内会の活性
- ・町内会組織の参加（強化）の支援策

●コミュニティの場づくり関係 (5件)

- ・(町内)憩いの場をもっと作る
- ・市民活動する（話し合い）をする場所がない
- ・お祭り
- ・コミュニティを活性化させる
- ・人が集まることのできる拠点をもう1つ作ってほしい

●つながりづくり関係 (4件)

- ・ひとり暮らしの人たちの見守り
- ・気軽に助けてほしいと言える人間関係
- ・共助の推進
- ・通学途上の児童の見守り活動（高齢者によるボランティア）

自然・住環境に関する意見も多く出されています。

—自然・住環境関係 18件—

●自然・住環境

- ・びわ湖の積極的活用
- ・環境の保全を進める
- ・びわ湖岸の公園の増設と再整備
- ・（駅周辺）緑化対策（景観）をもっと進める
- ・マザーレーク滋賀の中で草津から水と緑のまちづくりに更なる施策を打ち出すべき
（例）バイオを活かす
- ・ごみ集積場の整備
- ・プラスチックごみ問題
- ・火葬場 新設
- ・空き家をなくしていく
- ・空き家対策
- ・空き屋の雑草の処理
- ・空き家、廃屋をなくす
- ・空き家対策
- ・自然(緑)の維持管理 手間をかける
- ・川の汚染浄化、変なものを流さない
- ・通学路・市道・県道の道端の定期的な草刈り、管理
- ・道路・河川の維持のあり方草刈り整備迅速化
- ・豊かな自然の維持

安全・安心対策としての意見も多く出されています。

—安全・安心関係 17件—

●安全・安心対策

- ・学区・町内会での災害対策、訓練の実施
- ・災害に強いまちづくり 共助の強化
- ・治水、地震対策
- ・消防出張所を笠山の上の方に設置してほしい 10分以上→7分以内
- ・人口が増え都市化に向かう中で治安維持のための対策も考えなければならない
- ・地域パトロールの充実
- ・南草津駅周辺の公共施設の設置（防災広場）
- ・犯罪（どろぼうなど）があった時の共有
- ・避難所設備に関して
- ・防災訓練
- ・防災訓練の充実
- ・防災計画策定
- ・公園を増やす（避難所に活用できる）
- ・防災センターをつくる
- ・防犯・交通事故等に関する町内の情報の共有化 回覧による周知
- ・防犯カメラ
- ・防犯対策 カメラ設置など

さまざまな担い手対策に関する意見も多く出されています。

—担い手関係 13件—

●担い手対策

- ・まち協サポーターの登録
- ・子どもの見守り隊ボランティアの登録
- ・自治会サポーターの登録
- ・若者の参加
- ・担い手を増やす
- ・地域で育った子どもたちが地域に愛着を持てるようにする
- ・農業の担い手のシステムづくり
- ・若い世代の人たちの地域への引き込み
- ・世代間交流の促進
- ・担い手の世代交代
- ・担い役が不足
- ・地域に参加する人を増やす
- ・地域特性を生かした人づくり

都市計画・土地利用に関する意見も多く出されています。

—都市計画関係 12件—

●都市計画・土地利用

- ・マンションを作らせない
- ・スーパーとマンションの共存の構想
- ・ゾーンニングのまちづくり
- ・マンション等の建設ゾーンと個人住宅の建設ゾーンを分けてまちづくりを描く
- ・山田草津線沿いの市街化区域化により沿道サービス等の充実
- ・市が進める計画の適正対応 ・地域再生計画 ・立地適正化計画 ・地域公共交通網形成計画
- ・市街化調整区域の活性化
- ・実行可能な都市計画
- ・住まいとセット 商業ゾーン
- ・市街地調整区域における乱開発の見直し
- ・都市計画
- ・道路の拡幅 渋滞

子育て支援に関する意見も多く出されています。

—子育て支援関係 12件—

●子育て支援

- ・各学区にこども園設置
- ・学校教員の待遇改善
- ・学童保育の場所増やす
- ・子どもがたくさんいるときの遊び場（室内）
- ・子育て希望の（近くの）こども園に入りたい
- ・子育て支援、マンションの親子の行き場づくり
- ・子育て支援場づくり（マンションもっと身近な）場所と主催者
- ・子育て世代を地域イベントへの参画
- ・子どもの見守り
- ・市内での学力の均一化
- ・市内の子どもが無料で遊べるような児童館の早期実現をお願いします（浜大津の明日都のような）
- ・子育て 病児対策

公共施設整備に関する意見も多く出されています。

—公共施設関係 12件—

●公共施設整備

- ・南草津駅周辺の行政機関の充実
- ・南草津駅前の整備
- ・税の公平、配分・両駅があり、どちらにも同等施設の設置・公共施設数の維持
- ・グランドゴルフ場の整備
- ・クレアホールを県に返還
- ・まちづくりセンター利便性の向上
- ・音響のしっかりしたホール 市民が使える施設の建設
- ・音響設備・民間業者・飲食関連を含めてコンベンションホール化をすすめる
- ・学校、幼稚施設と高齢者施設との一体開発
- ・児童公園の充実
- ・新しい市民会館の整備
- ・団地内公園の廃止まとめて公園を大きく

高齢者への対策としても意見も多く出されています。

—高齢者関係 11件—

●高齢者対策

- ・高齢者が喜んでもらえる環境づくり
- ・高齢者サロン
- ・高齢者のイベントの充実
- ・高齢者の活動できる場所を増やす
- ・高齢者の憩いの場所をつくりたい
- ・高齢者系
- ・民生委員待遇改善（高齢者対策）
- ・老人の憩いの場
- ・老人福祉
- ・高齢者の見守り声かけ
- ・高齢者イベント（まつり）敬老会

文化・文化施設・スポーツに関する意見も出ています。

—文化・文化施設関係 9件—

●文化・文化施設・スポーツ

- ・遺跡と荻の育む玉川ならではの文化財保存施設を中心に保存に努める
- ・旧草津川の利用、公園だけでは不十分、近くの人だけが利用するのではなく、もっと広く

多くの人が利用できるように

- ・市民ホールを建てよう
- ・図書館 文化施設の充実
- ・地域の文化財を守る施設・文化財等の保管施設・博物館
- ・伝統文化施設をアピールして集客する
- ・文化事業推進ソフト
- ・スポーツ施設の充実、地元の人を使いやすく
- ・スポーツチームの誕生、草津をホームにした

行政サービスに関する意見も出ています。

—行政サービス関係 7件—

●行政サービス

- ・まちづくりセンター内に市民センター時の各登録を出す様に（元に戻す）
- ・一斉放送設備の機能向上
- ・行政の努力
- ・市職員資質の向上
- ・税の配分
- ・相談事業に学区へ出向いてもらう 税金申告相談
- ・投票した人の減税やポイントの付与

産業振興に関する意見も出ています。

—産業・観光関係 5件—

●産業・観光振興

- ・観光につながる農業・漁業
- ・自然環境の良さを活かしたレジャー施設、研修施設を作る
- ・宿場のまちを活かしたまちづくりとPR
- ・農業の振興策の充実
- ・琵琶湖を生かした観光開発

地域福祉に関する意見も出ています。

—地域福祉関係 4件—

●地域福祉

- ・子育て、高齢者等の手助け ボランティアの人材育成
- ・地域ボランティアの呼びかけ

- ・福祉の充実化
- ・福祉（介護）にも目を向けること

交流・文化に関する意見も出ています。

—交流・文化関係 3件—

●文化・交流

- ・大学生との交流
- ・学園都市
- ・立命大との連携強化 共催イベントなど

地域情報化に関する意見も出ています。

—地域情報関係 3件—

●地域情報化

- ・SNS 掲示板
- ・情報(紙)誌の発行（リーフかさぬい）
- ・知名度を上げるため 映画、TV(ドラマ)で取り上げてもらえるようにする（スポンサーも含め）

若い人が農村に住める環境整備に関する意見も出ています。

—農村環境整備関係 3件—

●農村環境整備

- ・若い家族が住みたくなる環境（保育、教育、商業、医療）
- ・若者が働きやすい農業（楽しい農業）お金の稼げる農業
- ・農村に若い人が住める環境整備

—教育関係 2件—

●教育

- ・小・中学校の長期的な設置方針を決める
- ・小学校区で学区割りが決められているが、その通りになっていない。行政がキチンと分けるべき

—生活基盤としての施設整備関係 2件—

●生活基盤施設

- ・近くに薬局がほしい（災害・ケガ時）
- ・農村地域にも生活基盤としての施設整備（商業施設、医療）

—産業・雇用 2件—

●産業・雇用

- ・働き場所を増やして人口も増やしたい
- ・農地の健全な保全を進める体制整備

—公共施設・土地 2件—

●公共施設・土地

- ・大型跡地（警察、保育園・幼稚園の跡）有効利用
- ・複合施設（ビル）

—商業施設の新設（緊急） 2件—

●商業施設

- ・スーパーの新設
- ・商業施設の設置

—その他 11件—

●その他

- ・健康づくり : 気軽に利用できる健康づくりの場を作る
- ・つながり : 人のつながり 100歳体操 健康増進
- ・広域 : 更に伸びる草津市をもっと広い視野で湖南4市を一丸に滋賀の顔として戦略を考えることが望まれる
- ・文化・交流 : 友好都市の連携を拡充
- ・医療 : 医療施設（公立）の充実
- ・下水道 : 下水道の整備
- ・雨水対策 : 下流雨水 幹線の整備
- ・自然を生かし地域のための公園整備 : 天井川の平地化を早く
- ・人口対策 : 志津の人口はこれからも増加の一途をたどる・子どもの世代・成年、働き世代・・・高齢者世代を分けて対策を考える
- ・生活 : 豊かさが実感できる今の暮らしを維持する
- ・出会い : 合コン

1 新堂中学校校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月7日（日）午前10時～
場 所	草津市立新堂中学校2階 特別活動室
参 加	新堂中学校区 ○笠縫東学区 参加者：9名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ ○常盤学区 参加者：8名 ワークショップ：Cグループ、Dグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問 次期計画の策定についてふれられているが、結果がどうだったのか、現計画評価はされているのか。

回答 評価については、毎年、期中・期末の評価をしており、達成しているもの、していないものがある。評価しながらPDCAを進めている。

質問 計画策定の内容がわからないので、次を考えにくい。

回答 人口は市全体では増えているが、人口減少・高齢化が進む地域もある。また、アンケート調査をして、実態を探っているが、介護や病院等の心配もあり、これらの状況を踏まえて計画づくりを考えていく。

(3) ワークショップ

○草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに貼っていく場合、変えたいところが多く、住みたいまちとしてのランキングは高くても、まだ多くの課題があると感じた。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりがあり、ハード面の整備、防災、福祉・医療、行政サービスの向上等を進めたい。 ・防災の面では、地域の要支援者の把握、文化施設のハード・ソフト面の充実、高齢者の移動手段、路線バスの充実が必要。また、草津駅西口広場の交通渋滞の解消を特に言いたい。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した課題、意見が主になった。 ・自然、歴史、人情などがよく、安全性が高い。地域の高齢化が進んでいて、交通の利便性がよくない。医療機関が少ない。従って、交通網の整備、広域的道路、ライフラインの整備が必要。 ・また、まちづくりセンターの利便性向上、商業施設の不便さの解消が必要。 ・行政は、広的なモノレールなどの交通基盤の整備、規制緩和を進めて、地域では、商業施設の誘致、琵琶湖周辺の自然環境の保持、伝統文化の継承・保存に努める。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、自然環境が豊か。都市部は便利、生活実感として豊かにし、都市部と農村部のバランスのとれた環境確保が重要。文化財が豊か。 ・変えたいところは、昔からの風習があって、若い人が住みにくい。交通網の地域間格差がある。 ・まちづくりセンターの利便性向上も必要。 ・また、担い手不足もある。 ・自然環境を残しながら、地域性を活かした産業を守る。生活基盤施設の整備、特に、商業施設が不足している。 ・歩いて生活できる基盤整備を進めないといけない。 ・農振地域で家が建てられないため、若者が住めない。若い人が住める環境の整備が必要。 ・高齢者の移動手段の確保、伝統文化を残していくことが大切。

②参加者感想

- 改めて地域の課題が見えてきて有意義だった。
- まだまだ知らないことが多いと感じた。
- 良くなっていくことに協力できる事があればと思う。
- 地域別の長所、短所の話し合いの場をもてて良かった。
- もう少し事前にワークショップの仕方の内容を教えてほしかった。
- 初めて経験したため戸惑いでしたが、随分勉強になった。
- 有意義であったが、具体性に欠ける発表が多かった。
- 楽しかった。
- 一回だけでは馴染めないの、機会があればまた参加したい。
- 皆さんと一緒にまちづくりのことを話できたことが良かった。
- 和気あいあいの楽しい時間だった。
- 思いはいっぱい書き足りなかった。
- 今後の進展に期待する!!
- 参考になった。
- 今日の意見を幅広く総合計画に取り入れていただき、行政の取り組みと実施完成をお願いしたい。
- 今日の成果が総計に生かされるよう、お願いしたい。
- 若い人が夢を持ち、高齢者は心豊かに過ごせる町にしたい。
- 以前の審議に出ていた話とあまり変わらなくて、5年経っても変化なしという感じ。
- 行政と地域活動のつながりがより一層深まることを願う。

③まとめ

- 伸ばすところとして、駅前と郊外に大きなショッピングセンター、スーパーやコンビニ、病院等の施設の充実と自然環境の良さ、安全・安心なところを挙げられています。それに加え、常盤学区では、歴史文化財、伝統行事に関して挙げられています。
- 変えたいところとして、道路・交通インフラの問題。渋滞、道路幅の狭さによる危険、歩道の少なさ、公共交通機関（タクシー・バス）の少なさ、交通の便の悪さが挙げられています。他には、防災、福祉・医療、まちづくり、行政サービスのあり方に対して挙がっています。それに加え、常盤学区では、地域の格差が挙げられています。
- 進めたいことは、交通網の整備。子ども・高齢者・弱者に便利でやさしい交通手段や交通規制、渋滞の解消が挙げられています。他には、ひとづくり・まちづくり、自然環境、歴史文化の保持が挙げられています。それに加え、常盤地区では、若い家族が住みたくなる環境、生活基盤としての施設（商業・医療・保育・教育）の整備の必要性が挙げられています。
- 行政がやることは、予算の確保・有効利用。交通基盤整備、施設の充実、災害対策等、ハード面に関してが挙げられています。それに加え、常盤地区では、規制緩和（開発規制緩

和)・農地を生かした行政施策の推進が挙げられています。

○地域でできることは、市民参画と意識啓発、環境保全や歴史・伝統文化の継承・保持、居場所作り、町内の人的交流の活性化が挙げられています。

伸ばすところ

安心安全

小学校下校時のパトロール

まちの行事での世代間交流がある

生活の安心・安全、自助・共助の生活向上

日常施設充実

スーパーやコンビニ、病院など近くに沢山あり住みやすい

駅前と郊外に大きなショッピングセンターがある

病院が多い

便

単に住むだけで考えると便利(交通、環境 etc) (ペットタウン)

葉山川が近くにあり、ウォーキングなど散歩ができる場所がある

環境が良いホテル

変えたいところ

道路交通

いつも渋滞の場所が決まっている

朝の渋滞がすごい

路線のバスが少くない!

道路が狭く緊急車両が入れず、命の危険にさらされている地域が多い

東西道路の充実

道路インフラ整備

待機児童減少、防災道路の拡充

J/R草津駅の東西口の朝の車の渋滞

路線バスの拡充、充実(高齢者の方)

道路サイドの植栽が少ない

夜道が怖い所がある

狭い道が多い

コミュニティ

町内会活動が大変だ! 役員を選ぶのが大変

若い人たちが出て帰ってこない

地域に暮らす若い人の力が入りづくり、まちづくり

男性のひとり暮らしが多い

まちづくり協議会で地域差がある

まちづくり

子ども110番の廃止仕組みを変える

市民の声を活かす行政運営

シャッター店が多い

草津を全国にアピールできるまちなにする

進めたいこと

交通

高齢者の移動手段の充実

周辺道路の整備

渋滞の解消

環境

環境の保全を進める

コミュニティ

各区域においてのひとづくり・まちづくりのたのめ地区計画を進める(道路整備、拡幅含む)

再度まちづくり協議会のルールづくりを!

地域の担手の確保

共助の推進

行政がやること

交通

渋滞の解消施策

まめバスの拡充!

高齢者の移動手段の充実

予算の有効利用

地域でできること

市民がまちづくりに関心を持つ

市民参画

ボランティアでまちの美化を維持する

そこら辺にゴミを捨てるな

環境保全

街路樹やめて地域力を活かして花等で道路サイドを飾る運動をする

そうすることで雑草を刈るムダな維持管理費(血税)が削減される。早くアクションを起こせ!

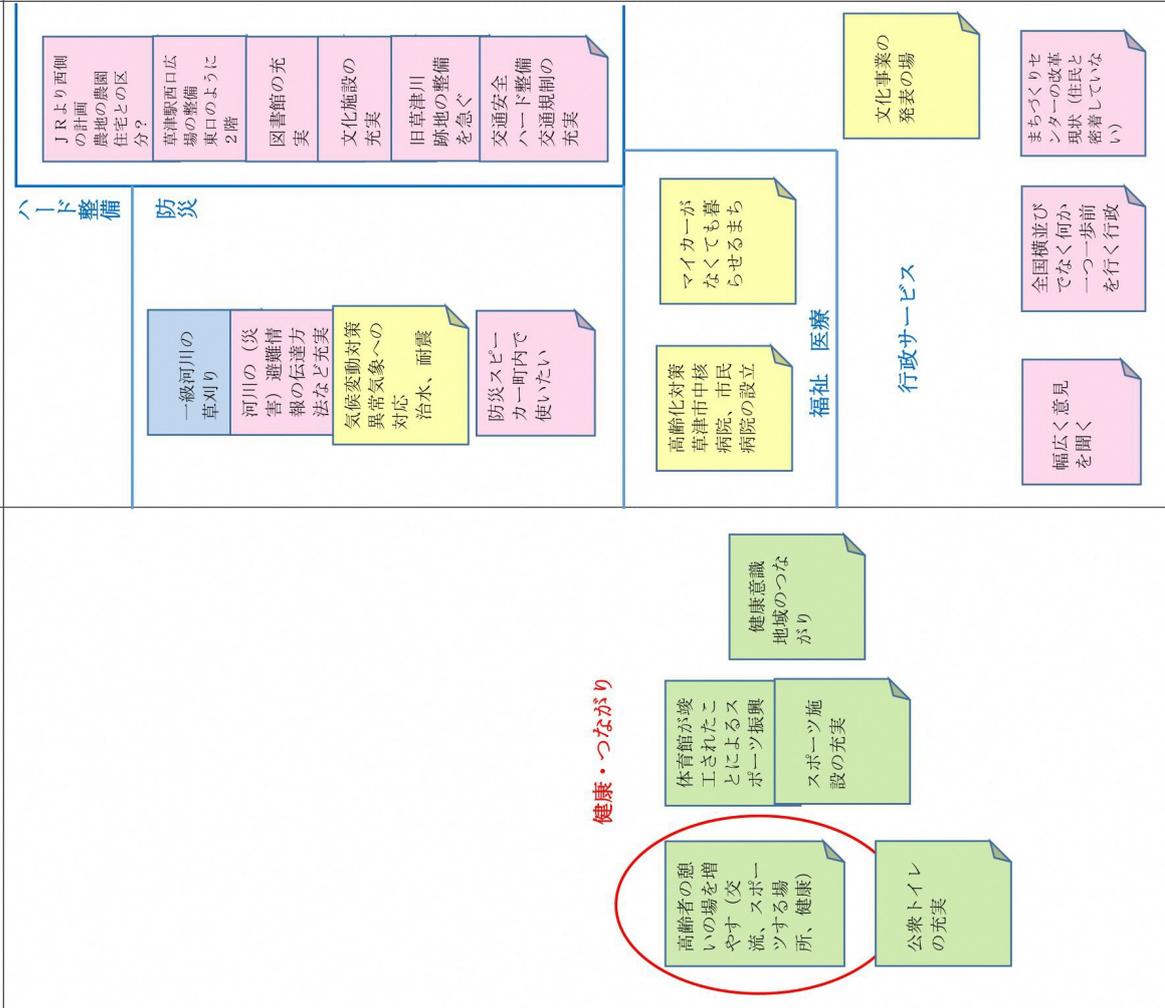
伸ばすところ

変えたいところ

進めたいこと

行政がやること

地域でできること



健康・つながり

伸ばすところ

自然確保

- 自然が多い
- 琵琶湖の景観・水産物
- 田園風景

歴史文化継承

- 歴史文化財が多い
- 歴史遺産
- 伝統行事まつり等
- 歴史文化が多数存在し、今後も整備保存確保をはかる

安全安心のまちづくり

- 災害が少なく親親潮が存在し、住みよいまちをいつまでも保存していく
- 治安・安全である

子供と高齢者

- 子育て支援の充実
- 高齢者対策の更なる充実

人が優しい

- 町内での近所づきあいが濃い
- 人との交流が多い
- 人情
- 住民のコミュニティ

変えたいところ

地域的 交通整備

- 交通網の拡大
市内巡回バス
目的別
(例) 病院行
- 歩道の整備がない
- 道路と歩道が区別されていない
- 交通の便が悪い
- 町内の道路幅が狭い
- 道路法滞解消
- 買物の為の交通施設が無い

ライフライン

- 学区内の移動手段の充実 (例) 学区内のみのロータリーバス (各町をまわる) (例) 乗り合いバス
- 高齢化に伴うライフラインの整備を要する
- 大津市、栗東市、守山市は隣接しておりさらに都市化が進むので広域的な整合した整備を要する
公共施設

公共施設 利便性

- まちづくりセンター
草のようには草津市役所支所の復活 (例) 住民票発行 etc)
- まちづくりセンター利用規制を幅広くする
まちづくりセンターへの各町からの交通確保

商業施設新設

- 商店が少ない
- スーパー、医院の増設
- 商店の確保 (生活必需品の確保)
- 近くに病院等がない
- 医療機関が少ない

自然環境

- 琵琶湖の健全な保存を考えた水質保全

規制撤廃

- 高齢化増で若い人が少ない (農振地区の撤廃)

進めたいこと

交通網の整備

- 学区内を巡回するコミュニティバスの新設
- バスルートの変更
- 道路バスの増便 (従来のルート)
- 市内モノレールの設置
- バスの増便、バス停の位置
- デマンドTAXI or TAXIチケットの導入
- デマンドタクシーの導入

広域的な道路整備

- 広域的な道路整備を図る
- 道路・歩道の整備

まちづくりセンター利便性の向上

商業施設の新設 (緊急)

- 商業施設の設置
- スーパーの新設

規制緩和と自然環境、歴史文化保持

- 農業の振興策の充実
- 相談事業に学区へ出向いてもらう
税金申告相談
- 一斉放送設備の機能向上

行政がやること

- ★交通基盤整備
- ★広域道路整備
- ★まちづくりセンターの行政サービス復活
- ★規制緩和 (開発規制緩和)
- ★安全・安心まちづくり

地域でできること

- 商業施設の誘致
- 自然環境の保持
- 歴史、伝統文化の継承保持

